

Polaris（ポラリス・仮称）設立の志（2026版）

2026年2月に執行された第51回衆議院総選挙を経て、時代が不可逆的に転換した。敗北のショックで、思考停止や内部分裂に陥っている猶予はない。今必要なのは、政治を立て直す、新たな構想と行動だ。

数多くの落選者、中道改革連合・立憲民主党・公明党の衆参国会議員、自治体議員、党员・サポーター、パートナーズなど、人財は多くある。今は、それぞれがばらばらに迷い、悩んでいる。国会や組織に任せるのではなく、幅広く国民、自治体議員、落選者がつながり、支えあう場をつくることから、再生を始めよう。

同時に、衆院選を通じて「ゲームのルール」が変わり、戦後の「昭和レベル」が政治史の一章を終えつつある現実には、直視するべきだ。しかし、それは否定ではない。これまで積み重ねてきた価値を引き継ぎながら、私たち新たな世代が、国民生活の現場に立脚した新たな政策軸を再構築することが求められている。

さらに、私たち国民の政治情報の摂取は根本から変化している。これからの政治活動は、SNS や AI を前提とし、共感を生むストーリーを伴うものでなければ広がらない。新たな情報技術を実装した政治に転換していこう。

したがって、政治の再構築は、次の三本柱によって進めていく。

第一に、国民、自治体議員、衆参国会議員そして落選者がボトムアップでつながること。

第二に、国民一人ひとりの人生と未来に投資する、共通の新しい旗となる政策を磨くこと。

第三に、それを SNS や AI など新しい技術を通じて広く国民の想いとつなげること。

Polaris は、挑戦する。

誰もが道しるべにする北極星のように、穏健保守からリベラルまで、立場にとらわれず自由に参加できるプラットフォームとして。

闇夜にぶれない北極星のように、困難な時代にあって個人の尊厳を守り、平和を守り、政策の筋を通す、新たな結集軸として。

そして荒海に乗り出す航海者をいざなう北極星のように、新たな取り組みを育むインキュベーターとして。

政治再生の先頭に立つ覚悟で、私たちはここに Polaris を立ち上げる。

Polaris は、以下の 3 つの活動を行う

①ボトムアップでつながる場づくり

- ・ 来年の統一地方選に向け、志をともにする自治体議員を応援する
- ・ 総選挙の落選者同士の支えあいや市民、有識者との意見交換を、定期的に行う
- ・ 社会課題を調査し、衆院中道・参院立憲・参院公明と連携して解決する
- ・ 透明性の高い新たな政治資金調達のかたちを模索し、仲間の活動を支える

②日本の未来を拓く旗となる政策の研究

- ・ 未来の日本にふさわしい新たな社会像の提示
- ・ 「今をしのぐ」から「未来に投資する」へ。現役世代が真に必要とする、人生選択の支援策を重視。
- ・ 世界の「ミドルパワー」を率いる平和国家・日本の実現
- ・ AI 時代をしなやかに受け入れる「人間中心の経済・社会」の構想

③SNS での実践と、AI など新たな技術の政治への実装

- ・ ボトムアップで社会を変革できることの可視化。批判や分断ではなく、つなげる。
- ・ 自治体議員や落選者の SNS 対応を底上げ
- ・ AI を活用した世論の的確な把握

Polaris は、絶望の延長線上に立つものではない。

敗北の中に残された人材と意思を結び直し、次の時代を切り拓くための試みである。

いま、動かなければならない。